

「五合目コース歴代最高記録保持者 1時間32分12秒(第58回2005年・H17年)」

静岡県 星野 芳美

☆成績：山頂コース：優勝5回 歴代1位

第52回(1999年・H11年)優勝 3時間10分23秒

第53回(2000年・H12年)優勝 1時間31分25秒(五合目打切り)

第54回(2001年・H13年)優勝 3時間05分16秒

第55回(2002年・H14年)優勝 3時間10分17秒

第63回(2010年・H22年)優勝 3時間18分41秒

：五合目コース：優勝3回 歴代2位

第58回(2005年・H17年)優勝 1時間32分12秒

第59回(2006年・H18年)優勝 1時間34分43秒

第66回(2013年・H25年)優勝 1時間38分16秒

原稿依頼のお手紙に「また富士山が私に力を下さった」と思えました。

故障して7年が過ぎ8度目の年末を迎えようとしている師走。

来年こそ心穏やかに新年を迎えたい、すっきりしたい。

故障と闘う気持ちは時には諦めに変わることも多々でその都度ここ沼津から見える富士山が救って下さいました。頑張り！諦めるな！待ってるよ！と

そして今過去の富士登山競走を振り返りながら幸せと温かさを存分に感じています。

初めて参加した第52回大会。当時金沢に住んでいて富士山がどんな山なのかさえ知らず初参加でした。その冬交通事故で骨折し3か月トレーニングが出来ず「山なら登れるかな」と軽い気持ちとそして恐れもない状況でした。

なにも知らないからとにかく一番上まで登るだけと挑戦したら優勝でした。

今思えば懐かしくあういう時もあったんだなと思えるほどそれ以降の私の陸上人生は変わっていきました。

富士山が見守り後押ししてくれているかのように陸上競技に取り組むようになり、トラック、マラソンと競技力をつけることが出来ました。

初優勝の翌年には主人の転勤で現在住む沼津に転居し富士山が見えた瞬間に

「私も何でもいい、自己満足でいい、なにかで日本一になりたい」

壮大な富士山を前にしてふと思ったことは鮮明に覚えています。

その後も毎年挑戦していましたが重圧もありました。

「重圧を感じることが出来るのもまた幸せなこと」「一番大事なことは力を出し切ること」「結果なんてどうにもならない。今やるべきことをやるだけ」  
棄権したこともありました。レース数日前から怖くて逃げたくなることもありました。スタート直前まで恐怖で泣いていたこともありました。  
でも富士登山競走を通じて多くの経験と感情を得る中で多くのことを教わりました。富士登山競走に賭ける気持ちがアスリートとして成長させてくれました。  
出会いも数多く与えてくださいました。  
初参加のときは独りででした。でも年々私には仲間が増えてきました。  
富士登山競走で1年に1度しか会わなくても共有できる気持ちを持つ大切な仲間がたくさんいます。  
ここ7年になる故障の間にも仲間にも救われました。  
「いつかまた一緒に挑戦しよう」「あの走りをまた見たい」「富士登山競走で姿を見たい」  
悶々した日々の中で大きな励ましと前を向く力をいただきました。  
年齢やマラソンとの兼ね合いで連続で出場出来なくなり数年ぶりに参加し5合目コースで久々に優勝したときは、ゴールの瞬間よりも嬉しかったのは富士吉田市役所で頂いた花束です。過去お世話になったスタッフのかたたちに一言報告したかった、帰り際に市役所の立ち寄った際祝福の言葉と花束を頂いたことはどの優勝よりも嬉しかったです。  
故障を治してもう一度山頂コースをゴールしてみたいと考えることはあるのですがもう無理かなとも。でもやはりスタートラインに立ってやるだけやって「やっぱりもう無理」と思いたい。ありがとうございます、と山頂で叫びたいですね。

(令和2年12月4日記)